

校長室だより 第10号

校長 瀧 俊彰

自然災害の恐ろしさ

台風21号で岸和田市内でも甚大な被害を受けた地区があります。10月15日以降毎日のように雨が降きました。そして21日から23日にかけて21号が通過し、先週末には22号の影響による大雨が降りました。台風による大雨と台風前からの雨で地盤が緩んでいたことが土砂崩れ、道路の陥没等の原因でしょう。22号による被害も心配されましたが特に大きなことがなくホッとしています。

山滝中学校区の大沢町では土砂・流木等で牛滝川がせき止められて氾濫し、通行中の自動車が水につかり一名が亡くなるという痛ましい事故もありました。そして、水道などのライフラインも一時は止まるなど日常生活も大きな影響を受けています。本校の校区でも岸城塔原線の道路の下の土が流されて道路が陥没する危険があるため、通学路である道路が22日以来通行止めとなっています。そのため、バスは水間方面を迂回して遅れて到着しています。また、通行止めのため自転車通学ができなくなるなど通学に支障をきたしています。

「防災」という言葉があります。災害、被害を防ぐという意味ですが人の力では防ぐことのできない災害もあります。しかし、被害を最小限でくいとめる努力はできます。そのために訓練を行うことと同時に常に避難の準備をしておくことや情報を集めて正しく判断できる体制をとることが大切でしょう。

全国でも被災された人がたくさんいます。一刻も早い復旧と心身の回復を願っています。本校でも従来の通学状況が早く回復できることを心待ちにしています。

第二回 PTA 親子環境整備

10月28日(土)に本年度二回目のPTA親子環境整備が行われました。生徒、保護者、教職員、地域のボランティアの方々など総勢約150名が参加してくれました。

当日は台風の影響もあり小雨の中での作業となりました。予定していた学校の周辺の清掃はなしとなりましたが約一時間半の時間で手際よくチューリップの球根植え、校内の草刈や落ち葉拾いなどを行い、草や落ち葉を入れたビニール袋の山となりました。参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。また、日頃時間ができたら来ていただいているボランティアさんもいらっしゃいます。合わせてありがとうございます。

この日に植えてくれたチューリップの球根は冬を越して早ければ卒業式に、順調にいけば入学式には満開となってくれることでしょう。作業をしてくれたみんなの思いがこもったチューリップです。



29年10月30日

岸和田市立葛城中学校